

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１０～１７℃台を示し、かなり低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２４トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では１日１統当たり７０kgの水揚げ（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり４４８kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では１日１統当たり３kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり６kgの水揚げ。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが１日１統当たり８４９kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが１日１統当たり４８kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが１日当たり２１５kgの水揚げで、前週の１．９倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（３／２５～３／３１の７日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）では、３日延１７隻、総計２８６箱、１航海最高７９箱、平均１６．８箱、スルメイカを漁獲、魚体は（２０～４０入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>